

別紙 1 医療情報システム要求仕様書

要求仕様								必須
12								
12							リハビリシステム	
12	1						ログイン・セキュリティ・初期画面	
12	1	1					システム起動後、ログイン画面を表示しアクセスを制限できること。	○
12	1	2					ログイン画面の画像イメージ（当センターの写真など）は設定で変更できること。	○
12	1	3					ユーザーIDに対して、システムの制限（一般・管理者）事項を設定できること。	○
12	1	4					ユーザーIDに対して、マスタ更新の権限を設定できること。	○
12	1	5					初期画面は、ユーザーID毎にテーマカラーの変更できること。	○
12	1	6					初期画面からパスワードを変更できること。	○
12	1	7					ログイン後に初期画面が必ず表示され、各機能はメニューボタンから選択できること。	○
12	1	8					初期画面のメニューボタンにはアイコンも表示し分かりやすくしていること。	○
12	1	9					初期画面のメニューボタン上にマウスをあてている時はボタンの背景色が変わり選択している状態が分かること。	○
12	1	10					初期画面内にログイン者ID、ログイン者名、使用端末名が表示できること。	○
12	1	11					初期画面内にログイン者用の個人メモが登録できること。	○
12	1	12					初期画面内にシステムログイン者向けのイベント情報を日付毎に表示できること。	○
12	1	13					初期画面内でシステムログイン者向けのメール送信ができること。	○
12	1	14					メール送信では、宛先を職種（理学療法士、作業療法士、言語聴覚士）表示から選択できること。	○
12	1	15					初期画面内でシステムログイン者向けの掲示板登録ができること。	○
12	1	16					掲示板に記載した内容は、初期画面に表示できること。	○
12	1	17					掲示板の内容で重要事項はマークを付けることができること。	○
12	1	18					初期画面内でログイン者向けにカレンダーにメモを登録ができること。（メモは未来日も登録可とすること）	○
12	1	19					初期画面内でリハビリシステムデータのバックアップ処理の状態を表示できること。（バックアップが取られていない際にユーザーが分かること）	○
12	1	20					ログイン後に一定期間バックアップが実行されていない場合にアラート表示できること。	○
12	2						患者情報機能	
12	2	1					患者基本（患者番号・カナ氏名・漢字氏名・生年月日・年齢・性別・身長・体重・電話番号・住所情報・メールアドレス）情報を登録・表示できること。	
12	2	2					生年月日は、入力することで年齢が自動設定できること。	○
12	2	3					郵便番号を入力することで市町村まで自動設定できること。	○
12	2	4					患者基本情報は、有効期限（履歴管理）を設定できること。	○
12	2	5					患者の疾患（病名）を登録できること。	○
12	2	6					疾患（病名）の登録は、フリー入力およびMEDIS社のから提供されているマスタ選択から登録できること。	○

別紙 1 医療情報システム要求仕様書

要求仕様							必須
12	2	7				疾患（病名）には発症日・転帰日を登録できること。	○
12	2	8				疾患（病名）には、接頭接尾語の登録できること。	○
12	2	9				疾患（病名）は1つではなく複数登録できること。	○
12	2	10				入退院（入院日・退院日・病棟）情報を登録できること。	○
12	2	11				病棟登録は病棟種別（回復期病棟・地域包括ケア病棟）に応じた起算日や設定できること。	○
12	2	12				病棟の登録は病室の登録できること。	○
12	2	13				退院の設定において転帰先（マスタ）の登録できること。	○
12	2	14				患者に対して注意事項などを記載できる掲示板が登録できること。	○
12	2	15				掲示板登録は自由に掲示板の内容を変更できること。	○
12	2	16				掲示板の記載項目は増やすことができること。	○
12	2	17				登録した掲示板内容を一覧形式で複数患者参照できること。	○
12	2	18				掲示板の内容をプレビューおよび印刷出力できること。	○
12	2	19				リハビリ情報（理学療法・作業療法・言語聴覚療法）を登録できること。	○
12	2	20				リハビリ情報に介護（保険・介護度・認定日）情報が登録できること。 ※システムの製品構成上、オプションではなく標準機能で提供すること。	○
12	2	21				リハビリ情報は1患者に対して、各療法複数のパターンを登録できること。 ※複数パターンの例・・・言語療法で脳血管リハパターンと摂食機能療法パターンの2つ登録できること。	○
12	2	22				リハビリ情報（理学・作業・言語）は、主担当・副担当の療法士を登録できること。 ※登録はマスタからの選択で可能とすること。	○
12	2	23				リハビリ情報（理学・作業・言語）は、診療科・医師を登録できること。 ※登録はマスタからの選択で可能とすること。	○
12	2	24				リハビリ情報（理学・作業・言語）は、算定情報を登録できること。 ※登録はマスタからの選択で可能とすること。	○
12	2	25				リハビリ情報（理学・作業・言語）は、訓練内容を登録できること。 ※登録はマスタからの選択で可能とすること。	○
12	2	26				リハビリ情報（理学・作業・言語）は、物理療法を登録できること。 ※登録はマスタからの選択で可能とすること。	○
12	2	27				リハビリ情報（理学・作業・言語）は、障害を登録できること。 ※登録はマスタからの選択で可能とすること。	○
12	2	28				リハビリ情報（理学・作業・言語）は、手術を登録できること。 ※登録はマスタからの選択で可能とすること。	○
12	2	29				リハビリ情報（理学・作業・言語）は、部位を登録できること。 ※登録はマスタからの選択で可能とすること。	○
12	2	30				リハビリ情報（理学・作業・言語）は、患者毎に個別条件（例：加算対象外や上限日・上限単位数対象外等）の設定ができること。	○

別紙 1 医療情報システム要求仕様書

要求仕様							必須
12	2	31				リハビリ情報では、各疾患別リハビリテーションにおける起算日を登録できること。 ※物理療法等、起算日が不要な明細に対しては未登録で登録できること。	○
12	2	32				起算日からの算定上限日までの残日数表示ができること。	○
12	2	33				リハビリ情報では、リハビリ期間（開始日～終了日）を設定できること。 ※終了日を登録後、終了日以降は予約・実施登録対象リストから非表示となること。	○
12	2	34				リハビリ情報では、単位数（1～9）設定をキーボード入力およびマウス操作で登録できること。	○
12	2	35				リハビリ情報（明細）は、理学療法の情報から複写機能を使用して作業療法の明細を作成できること。	○
12	2	36				リハビリ情報（明細）を並べて登録内容の比較と情報取込みができること。	○
12	2	37				患者情報内の検索は、ID・カナ氏名・性別・生年月日・入院外来・病棟別・担当者別・チーム別で行うことができること。	○
12	3					リハビリ予約（スケジュール）管理機能	
12	3	1				予約（スケジュール）登録は、タイムテーブル形式で操作・管理できること。	○
12	3	2				タイムテーブル形式は、チーム・担当者個人・病棟別に表示を変更できること。	○
12	3	3				予約（スケジュール）の表示は、タイムテーブル形式だけでなく、リスト（一覧）形式で確認できること。	○
12	3	4				リスト形式での表示は、フィルタ機能にて絞り込みできること。	○
12	3	5				タイムテーブル形式は、表示させる刻み時刻を1分～60分単位で都度変更できること。	○
12	3	6				予約（スケジュール）登録対象の患者は、担当者別・ID指定・病棟（外来）別・カナ氏名・チームから検索指定できること。	○
12	3	7				予約（スケジュール）登録は、検索した患者をドラッグアンドドロップ操作で登録できること。	○
12	3	8				予約（スケジュール）登録後の修正・削除操作ができること。	○
12	3	9				予約（スケジュール）登録した患者の予約時間・単位数をドラッグ操作で移動および調整ができること。	○
12	3	10				予約（スケジュール）登録した患者の予約時間・単位数を直接入力方式で調整できること。	○
12	3	11				予約（スケジュール）登録した患者の予約時間をキーボードの矢印キーで1分毎調整できること。	○
12	3	12				予約（スケジュール）登録した患者を複数選択（Ctrlキー押下で）して一括で削除できること。	○
12	3	13				予約（スケジュール）登録した患者を担当者をまたがり複数選択（Ctrlキー押下で）して一括で削除できること。	○

別紙 1 医療情報システム要求仕様書

要求仕様							必須
12	3	14				予約（スケジュール）登録した患者をドラッグ操作で日をまたいでコピーできること。 ※例・・・4月1日の予約を4月2日、3日へドラッグ操作で登録すること。	○
12	3	15				予約（スケジュール）登録の際は、療法士間で患者の時間重複が発生した際にアラート表示できること。 ※新規登録、時間修正、単位数変更の時全ての操作時においてチェックすること。	○
12	3	16				予約（スケジュール）登録は、コピー機能で月単位・週間単位・日単位・期間指定等条件設定し一括登録できること。 ※コピー機能の一括登録の際も患者の時間重複チェックは行うこと。	○
12	3	17				予約（スケジュール）登録は、患者毎に3ヶ月カレンダー形式から確認および予約登録できること。	○
12	3	18				予約（スケジュール）登録した予約に対してメモ登録できること。 ※メモ登録された場合、該当予約の患者にマウスをあてるとメモ内容の付箋が表示されること。	○
12	3	19				療法士のスケジュールに勤務（カンファレンス、有休 等）登録できること。	○
12	3	20				勤務登録もドラッグアンドドロップ操作で登録できること。	○
12	3	21				勤務登録は、1分単位で時間を調整できること。	○
12	3	22				勤務登録後の勤務に対してコメント入力してコメントを常時表示できること。	○
12	3	23				出力条件を設定して患者の予約表を出力できること。	○
12	3	24				療法士毎の予約表を出力できること。	○
12	3	25				療法士毎の勤務予定表を出力できること。	○
12	3	26				タイムテーブル画面を画面イメージのままExcel出力できること。	○
12	3	27				患者お渡し用のレシートサイズの予約票を出力できること。 ※出力には専用のラベルプリンタを当センターにて準備していることを前提とする。	○
12	3	28				療法士の予約（患者予定・勤務）情報をQRコード表示できること。	○
12	3	29				予約（スケジュール）登録は、電子カルテの予約カレンダーにも反映されること。また、他科の予約と重ならないこと。	
12	3	30				予約時間を設定せず、枠外予約を可能とすること	
12	4					リハビリ実施（記録）登録機能	
12	4	1				予約がある場合、予約からドラッグアンドドロップおよびダブルクリック操作で実施登録できること。	○
12	4	2				予約がない場合、担当者別・ID指定・病棟（外来）別・カナ氏名・チームから患者検索し予約なしで直接リハビリ実施登録できること。	○
12	4	3				実施登録の表示は、タイムテーブル形式で表示できること。	○
12	4	4				タイムテーブル形式は、チーム別・担当者個人別・病棟別に表示を変更できること。	○
12	4	5				タイムテーブル形式は、刻み時刻を1分～60分単位で都度、変更できること。	○
12	4	6				実施登録の表示は、リスト（一覧）形式で表示できること。	○

別紙 1 医療情報システム要求仕様書

要求仕様							必須
12	4	7				実施登録時間は、予約した時間から変更できること。 ※実施登録時間を変更しても予約の時間は変更されないこと。	○
12	4	8				実施登録した患者をドラッグ操作で時間と単位数を修正できること。	○
12	4	9				実施登録した患者を直接数値入力で時間と単位数を修正できること。	○
12	4	10				実施登録した患者をキーボードの矢印キーで1分毎調整できること。	○
12	4	11				疾患別リハビリテーションの1日の上限単位数のチェックができること。	○
12	4	12				疾患別リハビリテーションの算定上限日となった際のアラート表示ができること。	○
12	4	13				疾患別リハビリテーションの算定上限日までの残日数（設定したn日まえから）アラート表示ができること。	○
12	4	14				疾患別リハビリテーションの1日の上限単位数のチェックができること。	○
12	4	15				療法士の上限（1日、1週間）単位数のチェックができること。	○
12	4	16				早期リハビリテーション加算、初期加算の期限内・期限超えアラート表示ができること。	○
12	4	17				脳血管・運動器・廃用症候群リハにおいて、介護保険を有する患者に対する減算処理の対応ができること。	○
12	4	18				リハビリテーション評価料の月内1回算定チェックができること。	○
12	4	19				介護保険を有する患者に対してリハビリテーション評価料1・2の算定チェックができること。	○
12	4	20				疾患別リハビリテーションの期間超時の月内13単位のチェックができること。	○
12	4	21				リハビリに必要な医事解釈の算定チェックができること。	○
12	4	22				実施登録は1患者につき、1日複数回実施登録できること。 ※例・・・午前1単位・午後1単位	○
12	4	23				実施の開始時間入力で終了時間は単位数に応じて自動計算できること。	○
12	4	24				単位数の変更に応じて実施時間（終了時間）が自動計算できること。	○
12	4	25				実施登録後、実施編集（訓練内容修正等）ができること。	○
12	4	26				実施内容に対する記録コメント（フリー入力）が登録できること。	○
12	4	27				記録コメントは、用意されたテンプレートから流用（コピー）できること。	○
12	4	28				記録コメントは、過去に入力された内容を見ながら記入できること。	○
12	4	29				実施コメントは、1画面で複数の患者の登録することができること。	○
12	4	30				予約から実施登録する際に実施登録完了となる前に実施編集（訓練内容修正、コメント入力等）ができること。	○
12	4	31				患者同士の実施間隔を自動的に付けることができること。 ※例・・・2分間隔の場合 患者A 9:00～9:20 患者B 9:22～	○
12	4	32				実施の削除ができること。	○
12	4	33				予約した患者がリハビリできなくなった場合に休み登録ができること。	○
12	4	34				予約した患者を一括（複数患者）操作で実施登録できること。	○
12	4	35				実施記録は電子カルテのカルテ歴に反映されること。	
12	5					計画書・機能評価	

別紙 1 医療情報システム要求仕様書

要求仕様							必須
12	5	1				※WEBブラウザへのアクセスは、標準でフリーライセンス対応であることを前提とする。	○
12	5	2				計画書（新様式21/23/21-6）の作成をWEBブラウザを使用して作成できること。	○
12	5	3				計画書（新様式21/23/21-6）をExcel出力し印刷できること。	○
12	5	4				計画書（新様式21/23/21-6）のExcel出力用のExcelについてはフォーマットを修正できること。	○
12	5	5				計画書（新様式21/23/21-6）を作成履歴からコピー作成できること。	○
12	5	6				計画書（新様式21/23/21-6）は、あらかじめ作成したテンプレートから初期作成できること。	○
12	5	7				計画書（新様式21/23/21-6）は、医師・リハ医・PT・OT・ST・看護等の入力状況のステータスを表示できること。	○
12	5	8				計画書（新様式21/23）の機能評価をBarthel Indexまたは機能的自立度評価法（FIM）から選択できること。	○
12	5	9				目標設定支援シートの作成をWEBブラウザを使用してできること。	○
12	5	10				廃用症候群に係る評価表の作成をWEBブラウザを使用してできること。	○
12	5	11				機能評価（ADL・FIM等）の作成をWEBブラウザから作成できること。	○
12	6					帳票（統計）機能	
12	6	1				基本的な日報・月報・年報の帳票をプレビューおよび印刷出力できること。	○
12	6	2				全ての帳票は、抽出条件を設定でき、出力内容を変更できること。	○
12	6	3				帳票の種類によって、印鑑欄を設定できること。	○
12	6	4				印刷出力前に出力プリンタを選択できること。	○
12	6	5				回復期病棟の提出書類（様式49、様式49の2～6）を作成できること。	○
12	6	6				回復期病棟の提出書類（様式49、様式49の2～6）の集計は画面で確認できること。	○
12	6	7				地域包括ケア病棟の提出書類（様式50、様式50の2～3）を作成できること。	○
12	6	8				地域包括ケア病棟の提出書類（様式50、様式50の2～3）を作成できること。	○
12	6	9				様式42-2の疾患別リハビリテーションに係る症例報告書を作成できること。	○
12	7					BIツール機能	
12	7	1				パッケージ標準で、BIツール（データの自動グラフ化）機能が搭載されていること。 ※Excelでの対応不可。	○
12	7	2				BIツールは、メーカー側で提供されたボタンに対して範囲指定を行い実行ボタンのみで自動グラフ化できること。	○
12	7	3				BIツール側でログイン管理可能で管理者のみが操作できること。	○
12	7	4				BIツールは、グラフの種類（縦棒・折れ線・円・ドーナツ型・横棒・点・ピラミッド型）をマウス操作で変更できること。	○
12	7	5				BIツールは、グラフに対して目盛りを付けることができること。	○

別紙 1 医療情報システム要求仕様書

要求仕様							必須
12	7	6				BIツールは、グラフに対して基準線（平均・最大・最小）を付けることができること。	○
12	7	7				BIツールは、グラフを立体または平面から選択できること。	○
12	7	8				BIツールは、グラフをダブルクリックしてドリルダウン（内訳を開く）できること。	○
12	7	9				ドリルダウン（内訳を開く）は、最大5階層まで設定できること。	○
12	7	10				BIツールは、グラフをExcel出力できること。	○
12	8					その他機能	
12	8	1				WEBブラウザへのアクセスは、標準でフリーライセンス対応であることを前提とする。	○
12	8	2				WEBブラウザを利用して、指定した日付の外来・各病棟のリハビリ予定を参照できること。	○
12	8	3				WEBブラウザを利用して、患者毎に当センター独自の文書を作成できること。	○
12	8	4				WEBブラウザを利用して、患者毎のリハビリ実施記録を参照できること。	○
12	8	5				WEBブラウザを利用して、患者毎のリハビリ予約を参照できること。	○
12	8	6				WEBブラウザを利用して、患者毎のリハビリ会計情報をカレンダー形式で参照できること。	○
12	8	7				WEBブラウザを利用して、患者毎のファイル管理（動画・静止画・PDF ファイル 等）できること。	○
12	8	8				各マスタは、世代管理を行うことができること。	○
12	8	9				各マスタの並び替えを設定できること。	○
12	8	10				各マスタの有効期間を設定し、表示・非表示が設定できること。	○
12	8	11				医療・介護に関する算定マスタを自由に追加できること。	○
12	8	12				システムの操作ログを期間指定で画面確認できること。	○
12	8	13				システムの操作ログでは削除処理データの行を強調表示できること。	○
12	8	14				操作マニュアルは、システム（画面）から起動できること。	○
12	8	15				カンファレンス情報を登録、閲覧、変更、削除できること	
12	8	16				カンファレンスの作成状況を一覧で確認できること	
12	8	17				カンファレンスで活用できる、訓練内容などを含む患者一覧表が作成できること。	
12	9					システム構成	
12	9	1				クライアント構成は、ライセンス制およびフリーライセンスにも対応できること。	○
12	9	2				機能追加・改正時のプログラム資源適用はサーバのみで対応できること。	○
12	9	3				データベースは、Microsoft®のSQLServerを採用していること。	○
12	10					インターフェース連携機能	
12	10	1				医事会計システムと患者属性情報の連携ができること。 ※ベンダ問わず接続実績もあること。	○
12	10	2				医事会計システムとリハビリ会計情報の連携ができること。 ※ベンダ問わず接続実績もあること。	○
12	10	3				医療情報システムにて送信されたリハビリ処方の内容を受信できること。 ※ベンダ問わず接続実績もあること。	○

別紙 1 医療情報システム要求仕様書

要求仕様							必須
12	10	4				受信したリハビリ処方情報を画面表示できること。	○
12	10	5				医療情報システムへリハビリ実施内容を送信できること。 ※ベンダ問わず接続実績もあること。	○
12	10	6				医療情報システムへリハビリ予約を送信できること。 ※ベンダ問わず接続実績もあること。	○
12	10	7				加算の算定可否についてチェックができ、アラーム表示されること	
12	10	8				タブレットと連携し、スケジュールや予約状況、実施状況などを確認できる機能を有すること。	
12	11					その他・導入支援・保守（サポート）サービス	
12	11	1				リハビリシステムの販売・導入・保守経験として20年以上の実績があること。（事業の安定性）	○
12	11	2				リハビリシステムのみで全国に100件以上の導入実績があること。	○
12	11	3				導入支援（打合せ・インストール・操作教育・稼働立合い・月次立合い）を見積範囲内で実施できること。	○
12	11	4				初期マスタは標準マスタの提供ではなく、当センター専用のマスタをSEにて一括登録・引渡しできること。	○
12	11	5				保守サービスの対応時間は、月曜日～金曜日8:30～17:30（土日祝日および会社規定休日含まず）で対応できること。	○
12	11	6				サポートSEは、システムおよびリハビリ業務に精通したメーカーの担当者で対応できること。	○
12	11	7				リハビリシステム専用のサポートダイヤル（専用電話）があること。	○
12	11	8				リハビリシステム専用のサポート専用サイトがあること。	○
12	11	9				医療・介護改定の際は、内容の大小に関わらず更新プログラムを無償提供できること。	○
12	11	10				メーカーとして、診療報酬改正対応を5回以上経験したことがあるサポート実績があること。	○